

事業の概況

■世界的な新型コロナウイルス感染の拡大

当第2四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年6月30日）におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染の拡大により国内でも東京オリンピック・パラリンピックの延期、緊急事態宣言の発令など、日本経済への影響も避けられない状況となりました。しかしその後、緊急事態宣言が解除され、国内企業はコロナ禍後を念頭に可能な範囲での経済活動を模索しつつあります。

このように景気が極めて厳しい状況にある一方で、IT投資分野では生産性向上やコスト削減に加えてテレワークの導入に伴うニーズが急速に高まるなど変化も見られました。

景気は極めて厳しい状況
テレワーク導入に伴うニーズ

■お客様の事業活動をサポート

以上のような環境において当社グループは、「お客様の目線でソリューションを活かし、お客様の信頼に応える」を2020年度のスローガンに掲げ、従業員やお客様・お取引先様の安全を守ることを心掛けながら、働き方改革や生産性向上・コスト削減に繋がるIT需要の喚起に努め、テレワークの導入を急がれるお客様への積極的な提案活動などを通してお客様の事業活動をサポートしました。なお、当連結累計期間では前年のWindows 7更新需要の反動によるパソコン販売台数の減少やテレワークの利用拡大に伴う一部のオフィスサプライ商品や保守サービスの売上の減少がありました。

IT需要の喚起に努める
お客様への積極的な提案活動

■売上高は減収、各利益とも減益

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、4,329億43百万円(前年同期比3.8%減)となりました。利益につきましては、営業利益303億10百万円(前年同期比10.5%減)、経常利益309億63百万円(前年同期比10.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益207億89百万円(前年同期比11.6%減)となりました。

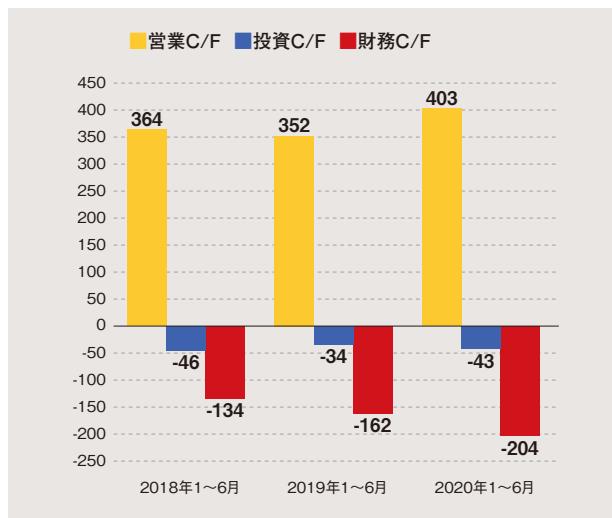
(単位：百万円)

	2019年1～6月	2020年1～6月	
	金額	金額	増減率
売上高	450,154	432,943	-3.8%
営業利益	33,880	30,310	-10.5%
経常利益	34,710	30,963	-10.8%
純利益*	23,522	20,789	-11.6%

※親会社株主に帰属する純利益

■キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)



営業活動によるキャッシュ・フローは、「売上債権の増減額」が減少に転じたことなどにより、前年同期に比べ51億28百万円増加し、403億62百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、「有形固定資産の取得による支出」が増加したことなどにより、前年同期に比べ8億89百万円増加し、43億19百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、「配当金の支払額」が増加したことなどにより、前年同期に比べ42億64百万円増加し、204億81百万円となりました。

四半期別の概況

■売上高の推移

売上高は、第1四半期(1~3月)は増収でしたが、第2四半期(4~6月)は減収となりました。

第1四半期(1~3月)売上高は、2,243億29百万円(前年同期比2.6%増)、第2四半期(4~6月)売上高は、2,086億14百万円(前年同期比9.9%減)となりました。

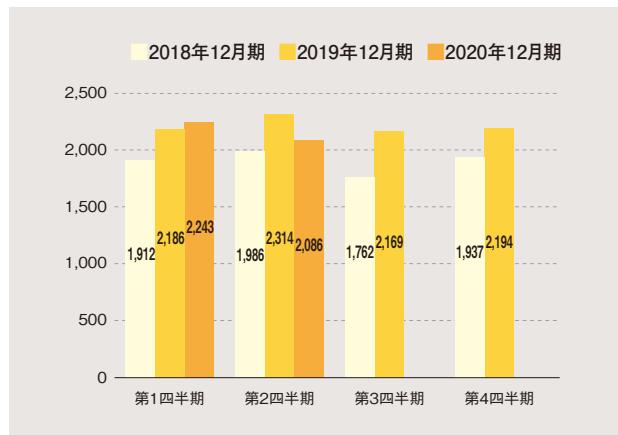
■経常利益の推移

経常利益も、第1四半期(1~3月)は増益でしたが、第2四半期(4~6月)は減益となりました。

第1四半期(1~3月)経常利益は、164億84百万円(前年同期比9.3%増)、第2四半期(4~6月)経常利益は、144億78百万円(前年同期比26.2%減)となりました。

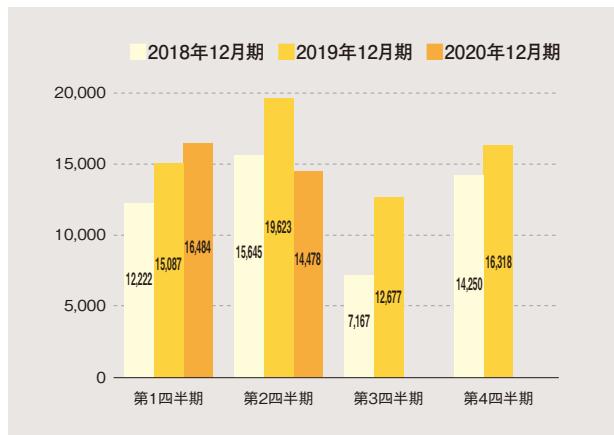
売上高の四半期推移

(単位：億円)



経常利益の四半期推移

(単位：百万円)



事業セグメント別の概況

■システムインテグレーション事業

コンサルティングからシステム設計・開発、搬入設置工事、ネットワーク構築まで最適なシステムを提供するシステムインテグレーション事業では、テレワークや働き方改革への対応の需要を捉えましたが、前年に高い伸びとなったパソコン販売台数の反動減や緊急事態宣言発令後の営業活動の制約などがあり、売上高は2,817億55百万円(前年同期比5.4%減)となりました。

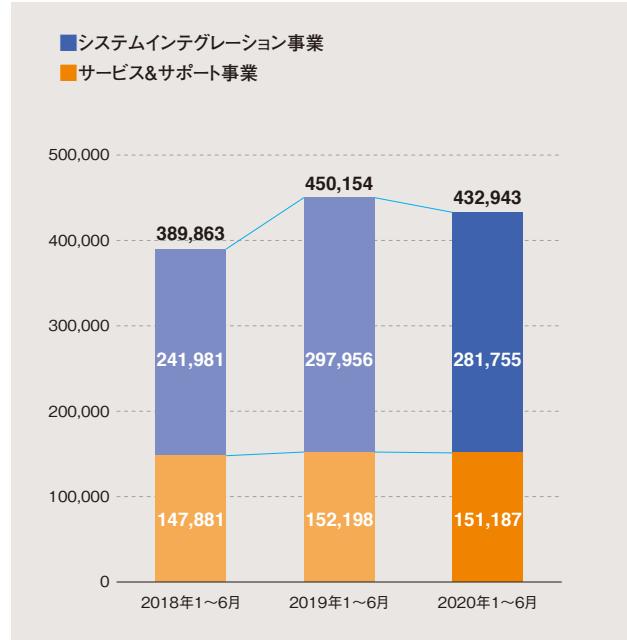
■サービス&サポート事業

サプライ供給、ハード&ソフト保守、テレフォンサポート、アウトソーシングサービス等により導入システムや企業活動をトータルにサポートするサービス&サポート事業では、テレワークによるオフィス利用の減少に伴い一部の商材が影響を受けたオフィスサプライ通信販売事業「たのめる」の売上高が前年を下回りました。またサポート事業「たよれーる」は複写機の保守サービスが売上高で前年割れとなりましたが、テレワークに関連するサービスやMNS*等の保守サービスを

伸ばし、保守等全体では売上高は前年を上回りました。結果、当事業全体の売上高は1,511億87百万円(前年同期比0.7%減)となりました。

事業セグメント別の売上高推移

(単位：百万円)



*MNS=マネージドネットワークサービスのこと。サーバーや通信機器、セキュリティやバックアップといったオフィスのIT環境をお客様に代わってネットワーク越しに運用・管理するサービス。